

総勘定元帳（簡易版）

対象年分 令和 年分 勘定科目：

事業者名：

取引明細

別紙：総勘定元帳の書き方ガイド

1. 総勘定元帳とは

総勘定元帳は、勘定科目（現金・売掛金・買掛金・売上高など）ごとに、取引を借方・貸方に分けて記録し、残高を計算する帳簿です。仕訳帳に記載した取引を、科目ごとに転記（集計）して作成します。複式簿記による記帳の中心となる帳簿の一つです。

2. 残高の増減方向（勘定科目の性質で変わる）

資産科目（現金・売掛金など）と費用科目（仕入・経費など）は、借方に記入すると残高が増え、貸方に記入すると残高が減ります。逆に、負債科目（買掛金・借入金など）・純資産科目（資本金など）・収益科目（売上高など）は、貸方に記入すると残高が増え、借方に記入すると残高が減ります。本テンプレートの Excel 版は、この 2 パターンをシート上部の選択欄で切り替えられます。

3. 55 万円・65 万円の青色申告特別控除との関係

国税庁タックスアンサー No.2072 によると、55 万円・65 万円の青色申告特別控除を受けるには、複式簿記による記帳と貸借対照表・損益計算書の添付が必要です。複式簿記には、総勘定元帳と仕訳帳の備付けが欠かせません（2026-09-04 時点で確認）。

4. 仕訳帳との関係

仕訳帳は取引を発生順に記録する帳簿、総勘定元帳は取引を勘定科目ごとに整理し直した帳簿です。仕訳帳に記帳したら、その内容を該当する勘定科目の総勘定元帳に転記する、という流れで使います。

本書は一般的な情報提供を目的とするテンプレートです。税務・会計上の助言を構成するものではありません。

勘定科目の性質（資産・費用か、負債・純資産・収益か）によって残高の増減方向が変わります。ご自身の科目にあわせてご利用ください。